MAA－506　1－960606.①.Ⓤ

TOSTEM トステム株式会社

ドアクローザ（No,S-22A1）（No,S-21A1）　取付け説明書

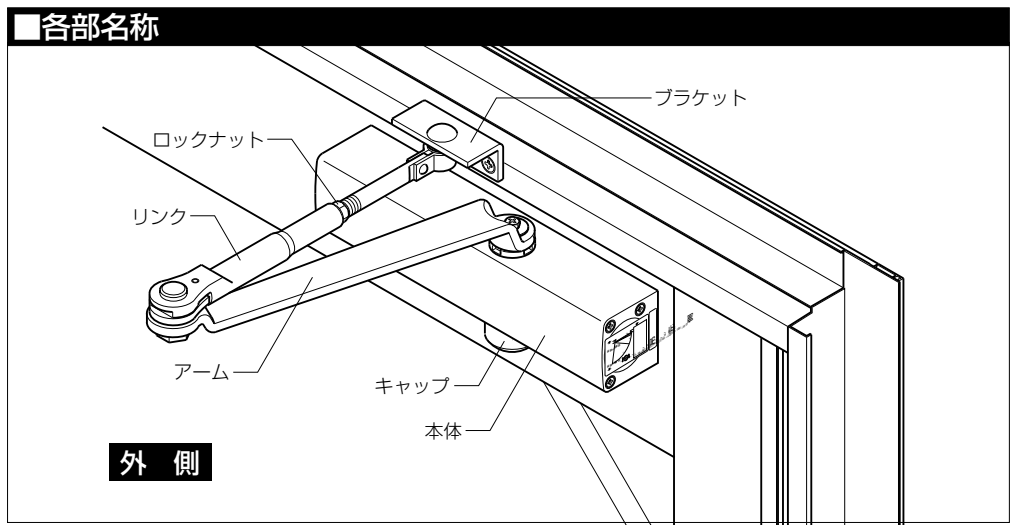
■お願い

●このドアクローザは、室外側に取り付けてください。
●本説明書は外観右つり元用で示してあります。左つり元の場合も、同じ要領で取り付けてください。

■ねじ一覧表

㋑	㋺	㋩	㋥
丸皿小ねじM5×12	ナベ小ねじM5×10	十字穴付き六角ボルト M5×12(セムス)	ナベ小ねじM5×12 (3点セムス)

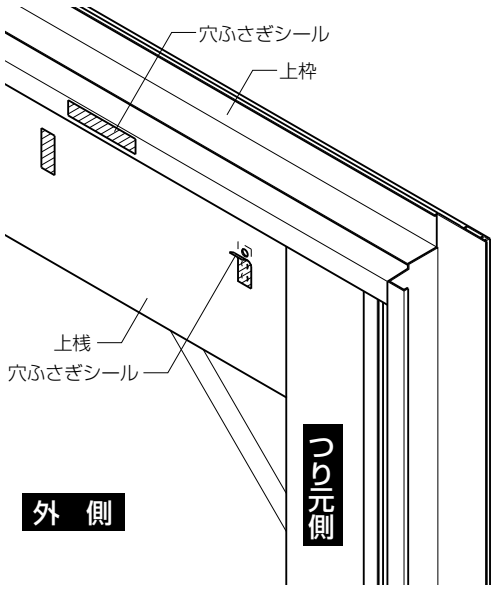
■各部名称



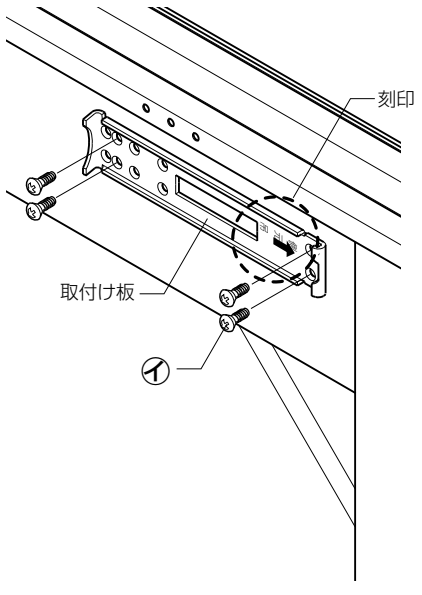
■取付け順序

1.取付け板の取付け

①上枠、上桟正面に取り付けてある穴ふさぎシールをはがしてください。

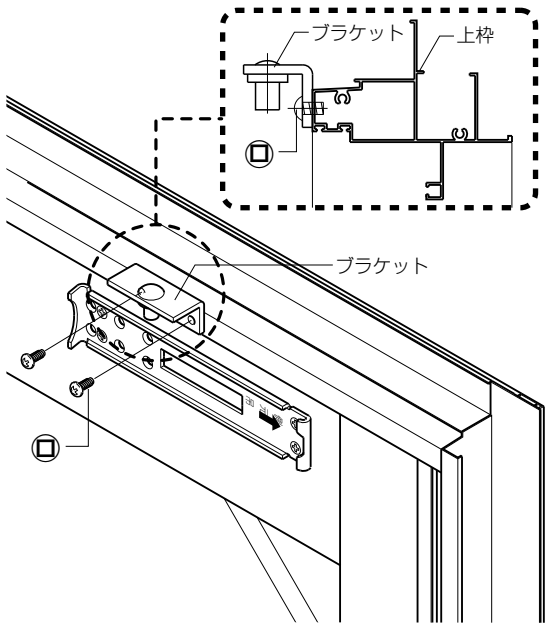


②取付け板は、取付け板の刻印（➡ 印)をつり元側にして取り付けてください。



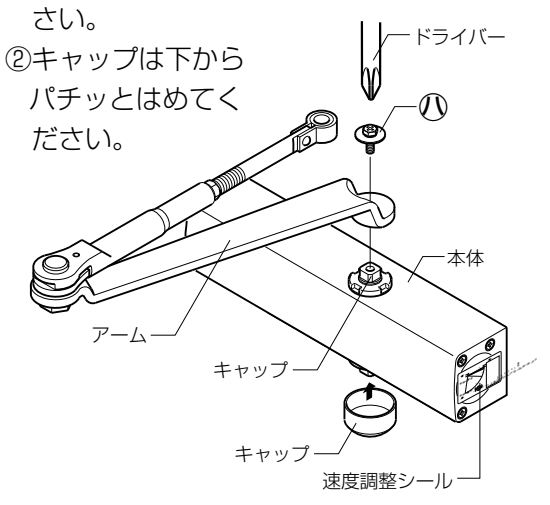
2.ブラケットの取付け

①上枠にブラケットを取り付けます。



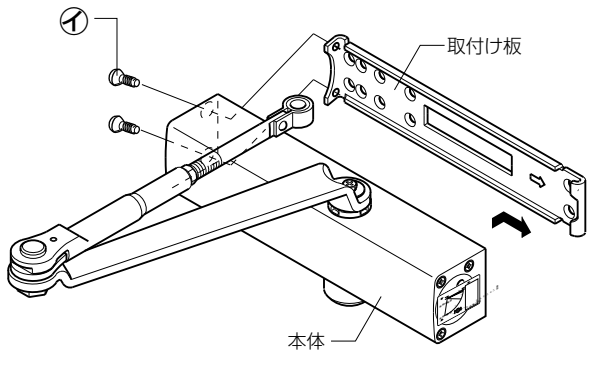
3.アームの取付け

●アームをクローザ本体へ取り付けます。
①速度調整シールとアームの方向を図の様にし、本体上側のピニオン軸にアームをはめ込み、しっかりとねじ止めしてください。
②キャップは下からパチッとはめてください。



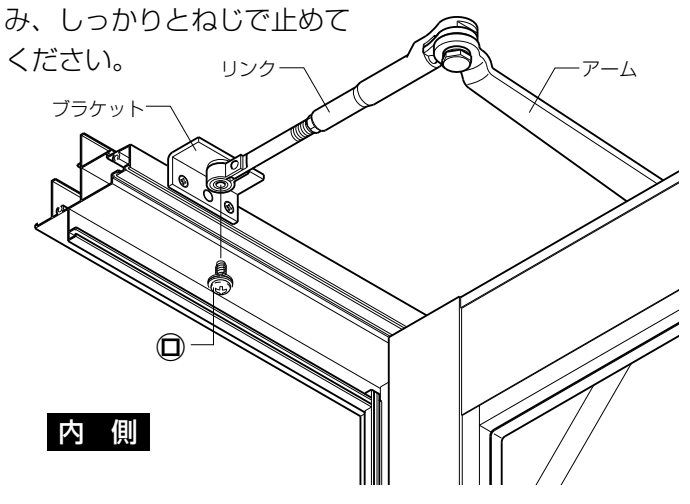
4.クローザ本体の取付け

①クローザ本体を矢印の方向にスライドさせて取付け板にはめ合わせます。
②戸先側から本体固定ねじで固定します。

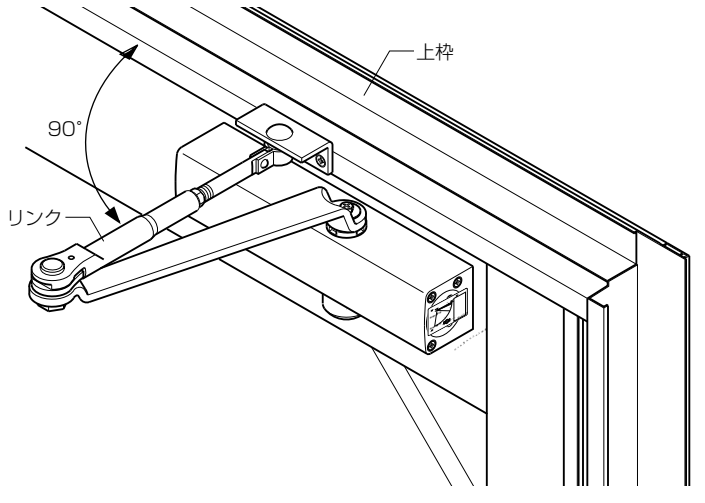


5.ブラケットとリンクの結合

①リンクの長さをドア面と垂直に調整します。
②リンクをブラケットのピンに下からはめ込み、しっかりとねじで止めてください。



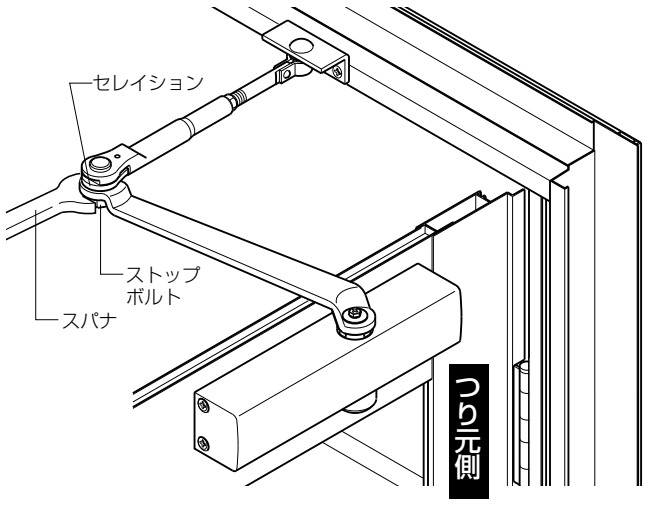
※リンクとドア面の取付け角度が90°より大きくなると第3速度区間がなくなりますので、必ず垂直に取り付けてください。



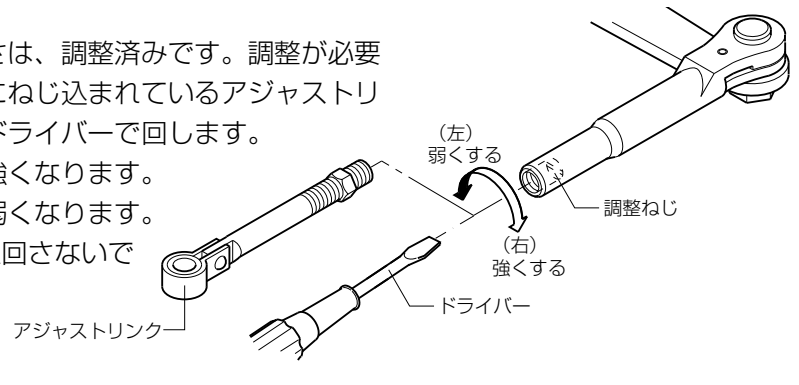
■ストップ強さの調整

■ストップ角度の設定

●ドアをストップさせる角度まで開き、ストップボルトをスパナできつく締め付けます。
締め付ける時は、ストップ装置のセレイション部のかみ合いを確認してください。
かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストップボルトを締めてください。
ストップ装置の締め付け力が不足していると、ストップ装置の故障の原因となります。



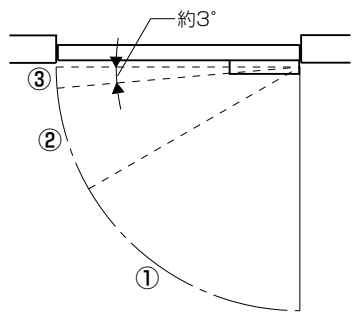
●あらかじめストップの強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているアジャストリンクを外し、調整ねじをドライバーで回します。
右に回すとストップ力は強くなります。
左に回すとストップ力は弱くなります。
※調整ねじは左右1回転以上回さないでください。

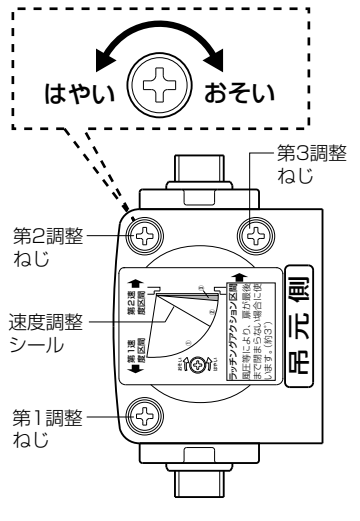


■各部名称

■閉じ角度の調整（第1速度及び第2速度）

①閉じ速度は、第1速度間及び第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで4～6秒位です。
※調整ねじは、本体側面より出さないでください。ねじが抜け、油がモレます。



■第3速度区間の調整

※第3側度区間は、ドアが 閉鎖位置手前(約3)まできた時点で、ドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。
※第3速度はドアを素早く閉める機能ですので第2速度より遅くすることはできません。